⑾　施工計画の内容が著しく不適当でない者、及び評価項目に対し全項目において施工計画の提案があり、技術提案書が所定の枚数を超えていない者、提案書の文字サイズが制限フォント未満でない者、提案項目数が所定の項目数を超えていない者。

なお、提出に必要な評価項目の詳細は入札説明書によるものとする。

3　施工技術競争型総合評価方式に関する事項

⑴　施工技術競争型総合評価方式の仕組み

本工事の施工技術競争型総合評価方式は、競争参加申請者から申請時に技術提案と技術提案プレゼンテーション前の指定の日までに入札書を求め、技術提案の技術評価点が50点以上の者を選定し、中日本高速道路株式会社契約規則（平成18年11月９日付中日本高速道路株式会社規定第25号）第18条における契約制限価格（以下「契約制限価格」という。）を「契約目安価格」に読み替え、選定された者の入札書の開札を行い、契約目安価格の２割増しの範囲内の入札額で最も総合評価点が高い者を落札者とする方式である。この場合、落札者の提示した価格が契約制限価格を上回る場合は当該価格について確認協議を実施し、確認協議に基づく価格で契約するものとする。確認協議の主目的は、契約目安価格を超えた入札となった場合に、契約目安価格を超えた理由を確認した上で契約するためのものである。

⑵　技術提案及び入札書の提出

申請者は、申請書、確認資料等の提出に併せて技術提案書（施工計画）及び、技術提案プレゼンテーション前の指定の日までに入札書を提出すること。入札書は封書により提出すること。

⑶　技術提案に関する事項

技術提案は、以下の項目について提出するものとし、資料は入札説明書に基づき作成するものとする。

評価項目①～④のうち㋐～㋓で１項目でも施工計画の提案が無かった場合、技術提案書が所定の枚数を超えている場合、制限フォント未満の場合または施工計画の１項目でも不可のある場合は、不適格とする。

また、評価項目①～④のうち㋐～㋓の提案は、それぞれ最大５項目までとし、項目数の多少による評価ではなく、その項目に対する提案を評価指標をもとに、その有効性を総合的に評価するものとする。なお、所定の項目数を超えている場合は不適格とする。

１）施工計画（施工方法及び仮設備計画の変更は可能とするが、工事目的物の変更を伴う提案は不可とする。工事目的物とは、契約する単価項目全てを示すもので、単価項目を施工するにあたっての仕様を契約書及び設計図書で示したものをいう。ただし、コンクリート構造物に関しては、硬化後の形状・寸法を変更せず所定の要求性能を満たす範囲での提案は可能とする。）

①　管理体制・手法
②　品質管理
③　安全管理
④　工程計画

⑷　技術提案の評価項目及び評価基準

技術提案の評価項目及び評価基準は下記のとおりとする。

１）施工計画

評価項目及び評価基準は下記のとおりとする。

①　管理体制・手法

㋐　「品質管理」及び「安全管理」（夜間通行止め架設時含む）に対する当現場での具体的な管理体制・手法

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

②　品質管理

㋑　床版コンクリートの品質向上

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

③　安全管理

㋒　送出し架設及び大型クレーン一括架設における通行止め施工時の安全管理

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

㋓　名神高速道路との近接施工時及び名神高速道路上空施工時における通行車両に対する安全管理

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

④　工程計画

㋔　名神高速道路の通行止め規制時間内での確実な架設計画とするための対策

・下記評価指標をもとに、提案された内容について、提案者の優劣を相対的に評価

技術提案の評価指標は下記のとおりとする。

優　一般的事項に加え、提案の具体性や新規性が認められる内容のもので、数値的根拠や検討結果が示されており、提案内容の信頼性が高いと認められる内容のもの。

良上　「良」に比べ、やや優れていると認められる内容のもの。

良　一般的事項に加え、提案の具体性や新規性が認められる内容のもの。

良下　「良」に比べ、やや劣ると認められる内容のもの。

可　一般的事項は述べられているが、提案の具体性も特段の新規性も認められない内容のもの。

不可　一般的事項の基準を満たしていない内容のもの。

※一般的事項とは、設計図書、共通仕様書、施工管理要領等の基準をいう。

⑸　技術評価点の付与方法

技術提案の評価項目及び技術評価点の付与方法は下記のとおりとする。

１）施工計画

①　管理体制・手法

㋐　「品質管理」及び「安全管理」（夜間通行止め架設時含む）に対する当現場での具体的な管理体制・手法

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（30点）優30点・良上22.5点・良15点・良下7.5点・可０点・不可（不適格）

②　品質管理

㋑　床版コンクリートの品質向上

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

③　安全管理

㋒　送出し架設及びクレーン一括架設における通行止め施工時の安全管理

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

㋓　名神高速道路との近接施工時及び名神高速道路上空施工時における通行車両に対する安全管理

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

④　工程計画

㋔　名神高速道路の通行止め規制時間内での確実な架設計画とするための対策

評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（10点）優10点・良上7.5点・良５点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

⑹　入札参加者の選定方法

技術提案の施工計画の内容により、満点100点の技術評価点を付与し、技術評価点が50点以上の者を入札参加者として選定する。

⑺　落札者の決定方法

競争参加応募者に技術提案を提出させ、技術提案の施工計画を評価し、技術評価点が50点以上の者を選定し、あらかじめ提出していた入札書を開札し、「契約制限価格」を「契約目安価格」と読み替え、契約目安価格の２割増しの範囲内の入札額で最も総合評価点の高い者を落札者とする。

総合評価点数の算出方法は、以下のとおりとする。

①　技術評価点：満点100点とし、３．⑸による。